

1. 「とっとり子育て親育ちプログラム」の概要

<ねらいは>

家庭教育は全ての教育の原点であり、基本的な生活習慣や豊かな情操、命の大切さや思いやりの心、社会生活を営むルールやマナーなど、子どもの人格形成に大きな役割を担っています。

本プログラムは、幼児期から小学生の子どもを持つ親の集まり等で、子育ての悩みや課題を題材に、ワークショップや話し合いなどの楽しい時間を共有することで、親同士のつながりを深め、家庭教育について学びあう仲間づくりを進めるものです。

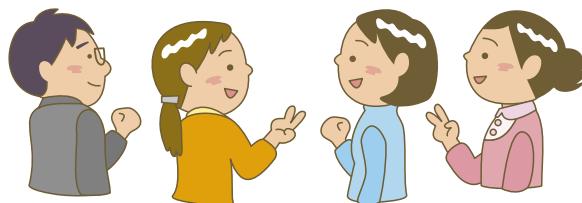
このプログラムで行われる個人やグループワークには、正解があるわけでもなく、無理に解答を導き出すものでもありません。プログラムをとおして、楽しい時間を共有し、互いの思いを共感することで、それぞれが子育てを振り返ったり、家庭教育について考えたりするきっかけとすることがねらいです。

<プログラムの構成と流れ>

導入

アイスブレイク(10分) (雰囲気をもたせる)

- 簡単なゲームなどで、初対面の緊張をほぐし、気軽に思いや考えが話せる雰囲気を作ります。
- グループ作りを兼ねることもあります。



展開

ワークショップ(30分) (主たる活動)

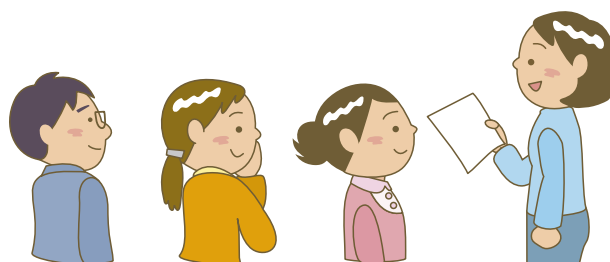
- 身近なテーマについて、自分の思いをシートに記入し、グループで意見交換を行う参加型の学習です。
- 小グループで家庭教育の悩みや情報を共有しながら、楽しく話し合いを進めます。



まとめ

ふりかえり(10分)

- 学習で気づいたことを個人やグループで振り返ります。他の人の感想を聴くことにより、自分の子どもとの関わり方を振り返り、新たな気づきが生まれます。
- 参加者同士の一体感も強くなり、ネットワークが生まれます。



<プログラムのテーマ>

これらの身近なテーマの中からプログラムを選び、グループで話し合います。


テーマ	プログラム
1. 自分自身のふりかえり	<ul style="list-style-type: none"> • こんなわたしです。よろしくお願いします • がんばっているあなたへ
2. 子育ての悩み	<ul style="list-style-type: none"> • 子どものすること なすことイライラお助け隊 • 子育てはつらい？楽しい？ • 楽苦しい時間が親子を育てる • もうすぐ入学、何をしたらいいの？
3. 親子のコミュニケーション① <子どものいいところ>	<ul style="list-style-type: none"> • 子どものいいところ み~つけた • うちの子、お手伝いできるモン
4. 親子のコミュニケーション② <子どもとのふれあい>	<ul style="list-style-type: none"> • 「10秒の愛」で子どもを幸せに • 親が笑えば子も笑う • よその子どもをインタビューしよう
5. 親子のコミュニケーション③ <子どもを知る>	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもの気持ちに近づくために… • 子どもの「大切なもの」を見つけよう • 抱っこで感じる子どもの成長
6. しかり方ほめ方	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもが育つステキな言葉 • 我が家のルール ベスト3 • 子どもを元気にする言葉 • これって誰が決めるの?!
7. 基本的生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> • 「宿題やった？」やる気を持たせる関わり方 • テレビやゲームにルールはあるの？

<プログラムを進行するのは>

プログラムを進行する人をファシリテータ（進行役）と呼びます。アイスブレイクを通じて参加者の雰囲気や和ませ、主たる活動（個人およびグループワーク）で参加者の思いや気持ちを導き出し、学習の目標を達成することをサポートします。


「とっとり子育て親育ちプログラム」は誰でも進行できるように、シンプルなプログラムにしており「進行マニュアル」と「ワークシート」を用意していますので、県が養成したファシリテータだけでなく、PTA 役員や学校の先生でも進行することが可能ですので是非、皆さんで御活用ください。

<活用場面は>




就学前健診時
入学説明会

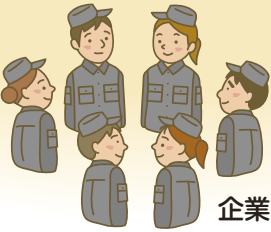
PTA研修会
学級・学年の懇談会




とっとり子育て親育ち プログラム



保育所・幼稚園
保護者会



企業内研修



公民館・子育て支援センター
乳幼児健診

<テキストの使い方は>

各プログラムは進行マニュアル（奇数ページ）とワークシート（偶数ページ）でできています。進行マニュアルに載っているアイスブレイクは例です。他のアイスブレイクに変更することも可能です。（参照：アイスブレイク編）

ワークシートのみ参加者の人数分コピーして配布してください。ワークシートは終了後に回収する必要はありませんので、参加者に自由に使用してもらいましょう。

1. 自分自身のふりかえり

① こんにちはです。よろしくお願いします。

<ねらい>
 ○家族や社会の中でのいる側面を持つ「わたし」という存在を大切にしながら、「わたしはわたしでいいんだ」という自己肯定感をもち、参加者同士がつながっていく楽しさを味わう。


<準備物>
 ○ファシリテータ：ワークシート
 ○参加者：筆記用具

	時間	主な活動	発言	留意点
導入	(10)	1. 学習のねらい 今日は自己紹介を兼ねて「自分自身」(あなた)について話し合ってみましょう。その前に、ちょっとリラックスするために、簡単なゲームをしましょう。		
		2. アイスブレイク ・しりとり自己紹介	アイスブレイク編P.9参照	・3～4人のグループに分ける。
		3.		
展開	10	4. ファシリテータの発言例を載せています。		・考えないでいたことを記すことを促す。
	20	5. グループで発表する。 ・ひとことコメント (ワーク2・3)	5. では、順番に1人ずつ自己紹介してください。1人の自己紹介が終わったら、他のみなさんはプラスのコメントをひと言ずつ添えてください。メンバーからのひと言や気づいたことは、ワーク2・3にメモしておきましょう。	・ワークポイントと思っていることを、プラス思考で言い換えてコメントすることを伝える。
まとめ	5	6. ふりかえり	6. みなさん、お互いのいろいろな良いところが見えてきましたか、今日参加されて気づいたこと、感じたことをワークシートの一冊下に書いてください。	・グループ内で発表しあう。
	5	7. まとめ いかがでしたか。いろいろな表現がありましたね。自分ではワークポイントと思っている、見方を変えると長所でもあるんですね。いろいろな面をもつ私たちですが、長所もみんなみなさんのよいところですよ。これからも、自信をもって、楽しみながら子育てに向かっていきましょう。		

16

こんにちはです。よろしくお願いします。

今日は自己紹介をかねて「自分自身」について話し合ってみましょう。あなたのよいところ、自慢できること、得意なこと、苦手なこと、子育てのことなど何でもOK。自己紹介をしてください。



ワーク1

よいところ、得意なこと、自慢できること

ワークポイント、苦手なこと

自分の考えを書き込むことができます。

ワーク2 メンバーからの意見ややりとりをメモしましょう。

グループで話しあった内容を書き込むことができます。

今日を振り返って

学習の振り返りができます。

17

<用語解説>

アイスブレイク

初めて出会った人たちが簡単なゲームなどをすることで、緊張感がほぐれて、話しやすい雰囲気になり、主たる活動にスムーズに入れるようなきっかけをつくる技法です。



ワークショップ

小グループで意見交換や共同作業を進める参加型学習です。自分の意見をまとめる時間（個人ワーク）とグループで情報交換したり、話しあったりする時間（グループワーク）で構成されています。

